

薬学教育部 博士前期課程 創薬・生命薬科学専攻 カリキュラムツリー

ディプロマポリシー：

学士課程教育で培われた基礎薬科学、生命科学、医療系薬学および衛生・社会系薬学の素養を基盤にして、各専門分野で自立し、かつ指導性を発揮できる、いわゆる高度な薬の専門家および生命科学者となることを目指す。特に、創薬・生命薬科学専攻博士前期課程では、医薬品創製の現場でゲノム創薬と基盤的創薬の研究、先端的な生命科学分野および環境科学分野の研究を遂行できるようになる。当該課程の標準修業年限以上在学し、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格した者に学位を授与する。

カリキュラムポリシー：

編成方針：社会が求める創薬・生命科学のスペシャリストを養成するため、4コースを導入し、各専門分野に特化した知識・技能に関連した科目を重視したカリキュラムを提供する。

- ・医薬品の体内動態評価、製剤化および薬物送達を行うドラッグデリバリーコース（医療系創薬研究者の養成）
- ・医薬品の探索を行うバイオファーマコース（生物系創薬研究者の養成）
- ・医薬品シーズを天然資源等から発見し、医薬品の設計・合成を行うメディシナルケミストリーコース（化学系創薬研究者の養成）
- ・病態遺伝学、発生学、循環代謝学などの生命科学を専門基盤とし、次世代創薬を目指すライフサイエンスコース（生命科学研究者の養成）

評価の方針：カリキュラム・ポリシーに沿って実施される各授業科目の学修成果、取得単位数、GPA及び外部試験の得点等を可視化することによって、教育課程全体を通じた学修成果の達成状況を測定・評価する。また、学位論文については、学位論文審査基準を明示し、その基準に基づき適切に評価する。全ての開講科目について、それぞれの学修目標の到達度を適正に評価するための方法及び基準を定め、これをシラバスに明記して周知する。

高度な専門的知識・技能及び研究力

- ・社会で薬の専門家の高度専門職業人として即戦力となりうる特定分野の知識・技能を有している。
- ・自らの研究の成果と意義を科学的かつ論理的に発表・議論できる。

学際的領域を理解できる深奥な教養力

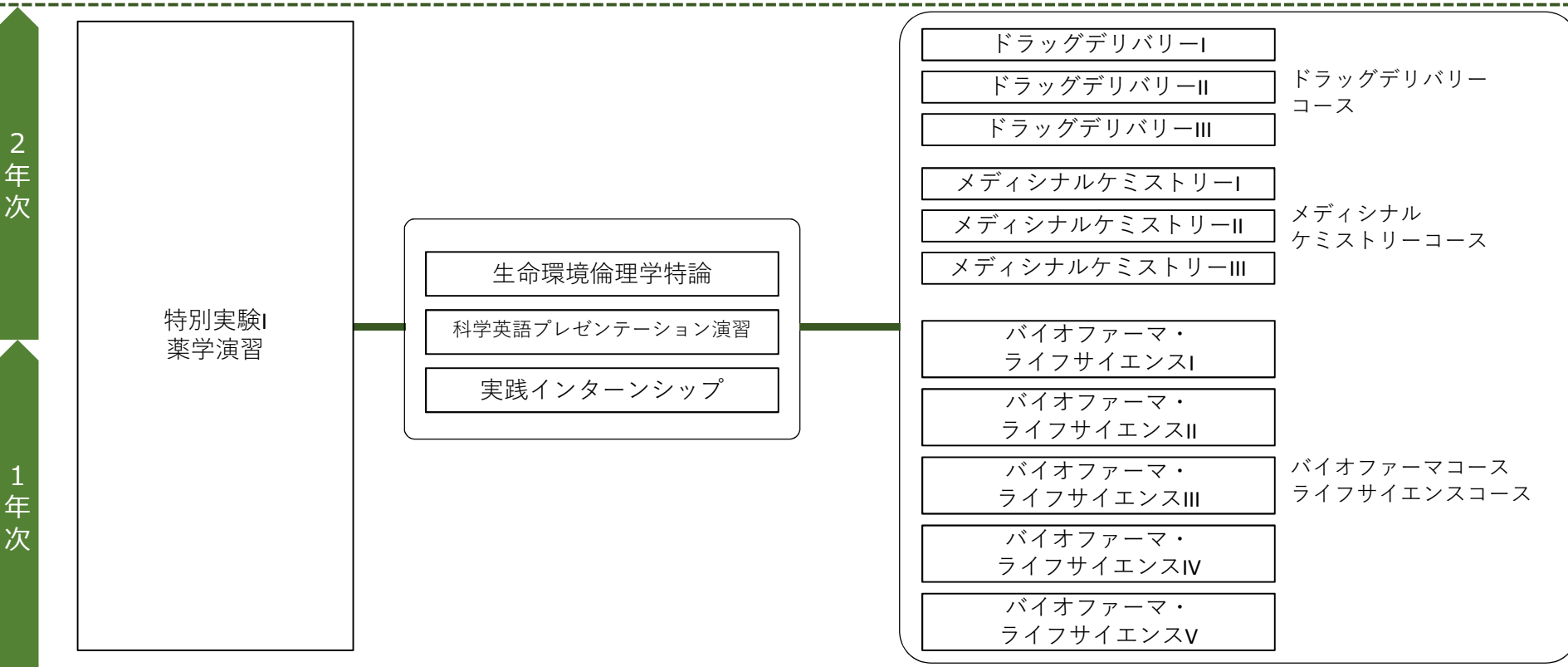
- ・各コース特定の専門分野に加えて、専門分野にとらわれない分野横断的な知識を有している。
- ・倫理観と環境マネジメント能力を身に付けている。

グローバルな視野と行動力

- ・国際社会に積極的に貢献できる研究を実施できる。
- ・英語での基礎的なプレゼンテーション・コミュニケーション・論文作成ができる。

地域社会を牽引するリーダーカ

- ・創薬科学や生命科学を通して、地域に積極的に貢献できる研究を立案できる。
- ・地域の問題を提起し、解決する基礎的能力を身に付けている。



薬学教育部 博士後期課程 創薬・生命薬科学専攻 カリキュラムツリー

ディプロマポリシー：

学士課程教育で培われた基礎薬科学、生命科学、医療系薬学および衛生・社会系薬学の素養を基盤にして、各専門分野で自立し、かつ指導性を発揮できる、いわゆる高度な薬の専門家および生命学者となることを目指す。特に、創薬・生命薬科学専攻博士後期課程では、医薬品創製の現場で主導的役割を果たすゲノム創薬と基盤的創薬の研究、先端的な生命科学分野および環境科学分野の研究を立案し遂行できるようになる。当該課程の標準修業年限以上在学し、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格した者に学位を授与する。

カリキュラムポリシー：

編成方針：社会が求める創薬・生命科学のスペシャリストを養成するため、4コースを導入し、創薬・生命科学に関する高度な専門的知識・能力に加えて、総合的・統合的に身に付けさせるためのカリキュラムを提供する。すなわち、専門分野における自立した研究者としての能力を養成する特別実験科目・コース科目（課題実習）、社会が求めるグローバルリーダーとしての人材を養成する研究型インターンシップ科目、より俯瞰的かつ実践的な人材や国際化に対応できる人材を養成する演習科目などを提供する。

評価の方針：カリキュラム・ポリシーに沿って実施される各授業科目の学修成果、取得単位数、GPA及び外部試験の得点等を可視化することによって、教育課程全体を通じた学修成果の達成状況を測定・評価する。また、学位論文については、学位論文審査基準を明示し、その基準に基づき適切に評価する。全ての開講科目について、それぞれの学修目標の到達度を適正に評価するための方法及び基準を定め、これをシラバスに明記して周知する。

高度な専門的知識・技能及び研究力

- ・社会で薬の専門家の高度専門職業人として即戦力となりうる特定分野の深い知識・技能を有している。
- ・研究者として自立して活動し、また高度な専門業務に従事するために必要な能力とその基盤となる学識を有している。
- ・自らの研究の成果と意義を国際的な水準で発表・議論できる。

学際的領域を理解できる深奥な教養力

- ・幅広い知識・技能を持ち、かつ専門分野にとらわれない高度な知識を持っている。
- ・特定の専門領域だけでなく、より俯瞰的かつ実践的な考え方ができる。
- ・高い倫理観と優れた環境マネジメント能力を身に付けている。

グローバルな視野と行動力

- ・国際社会に積極的に貢献できる研究を自ら発案し、実施できる。
- ・国際学会・国際インターンシップ・海外留学を通して、国際的な活動力を身に付けている。
- ・英語での優れたプレゼンテーション・コミュニケーション・論文作成ができる。

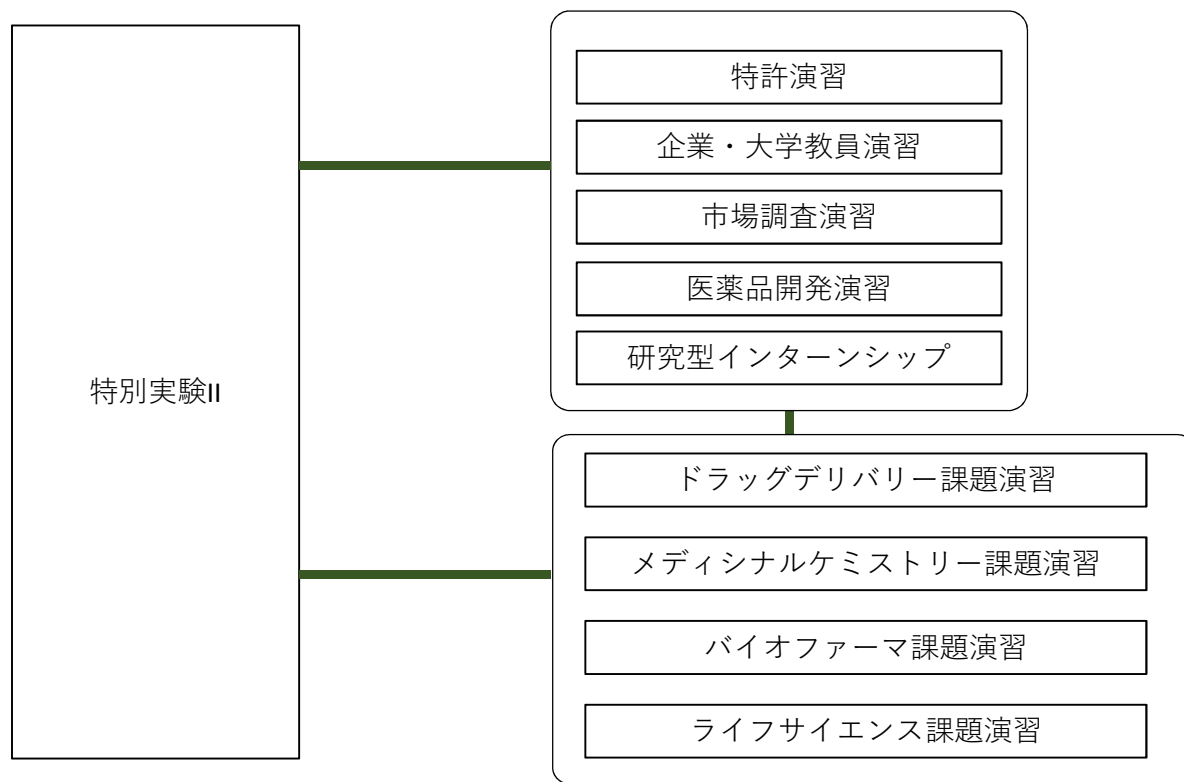
地域社会を牽引するリーダーカ

- ・創薬科学や生命科学を通して、地域社会に積極的に貢献できる研究を立案・実施できる。
- ・地域の問題を提起し、解決する能力を身に付けている。

3
年
次

2
年
次

1
年
次



薬学教育部 博士課程 医療薬学専攻 カリキュラムツリー

ディプロマポリシー：

学士課程教育で培われた基礎薬科学、生命科学、医療系薬学および衛生・社会系薬学の素養を基盤にして、各専門分野で自立し、かつ指導性を発揮できる、いわゆる高度な薬の専門家および生命科学者となることを目指す。特に、博士課程医療薬学専攻では、臨床の現場で薬の本質を深く理解した医療の担い手として医薬品の適正使用に貢献できる高度な業務、疾病の予防及び治療に貢献する臨床研究を立案し遂行できるようになる。当該課程の標準修業年限以上在学し、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格した者に学位を授与する。

カリキュラムポリシー：

編成方針：医療・健康・環境やその基礎となる科学に強い関心を持ち、高い問題提起能力および問題解決能力を修得し、研究者・教育者あるいは薬剤師など医療薬学・臨床薬学の関わるさまざまな領域で指導的立場に立って社会に貢献しようという意欲を有する人材を育成するため、主に先導的薬剤師を養成する「臨床薬学コース」および主に先導的医薬品開発研究者や薬学系教員を養成する「医療薬科学コース」の2コース制を導入し、各々の人材養成目標に対応するカリキュラムを提供する。さらに、“地域社会に開かれた大学院”として、社会人に門戸を開き、薬剤師の資質向上を目指した生涯教育を実施する。

評価の方針：カリキュラム・ポリシーに沿って実施される各授業科目の学修成果、取得単位数、GPA及び外部試験の得点等を可視化することによって、教育課程全体を通じた学修成果の達成状況を測定・評価する。また、学位論文については、学位論文審査基準を明示し、その基準に基づき適切に評価する。全ての開講科目について、それぞれの学修目標の到達度を適正に評価するための方法及び基準を定め、これをシラバスに明記して周知する。

高度な専門的知識・技能及び研究力

- ・研究者として自立して活動し、専門業務に従事するために必要な高度な知識を有している。
- ・高度な指導的臨床薬剤師および臨床研究者となりうる優れた技能および研究力を有している。

学際的領域を理解できる深奥な教養力

- ・専門分野にとらわれない分野横断的な高度な知識・技能を有している。
- ・臨床および企業等の現場での実践的能力を身に付けている。

グローバルな視野と行動力

- ・自らの研究の成果と意義を国際的な水準で議論できる。
- ・自らが国際共同研究の展開に寄与できる。

地域社会を牽引するリーダーカ

- ・高い倫理性と優れた倫理観と環境マネジメント能力をもち、地域社会に積極的に貢献できる。
- ・医療薬学・臨床薬学の関わるさまざまな領域で指導的立場に立って地域社会に貢献できる。

